

つくば市こども未来プラン

安心できる居場所・学習環境
で、つくばの子どもを育む

平成31年(2019年)
2月策定

居場所+学習支援

(1,219人※H30.10)

- 対象：経済的に困難を抱える子ども
- ・学習支援団体との協働(4～9年生)
H29 2か所→H30 3か所→H31 拡大(12か所)
 - ・学習塾代支援(9年生)
 - ・アウトリーチ(訪問支援)の実施
 - ・スクールソーシャルワーカーの活用

居場所支援

- 対象：就学前児童～高校生以上
- ・子ども食堂実施団体への支援
(平成30年11月から補助金開始)
 - ・つくば市に必要な居場所づくりの検討

学習支援

- 対象：1年生～9年生(約2万人)
- ・中学生：「地域未来塾」の開催
 - ・小学生：「放課後子供教室」での学習支援の実施
 - ・学習インフラの整備

市民参加

- 市民が参加しやすくするための支援
- ・ボランティア説明会の開催(学習支援・子ども食堂)
(平成30年12月初開催)
 - ・学習支援事業者向け研修会・意見交換会

平成31年度
からの
5か年プラン

保護者支援

- 対象：経済的に困難を抱える保護者
- ・高等職業訓練促進給付金の活用促進
(市独自給付をプラス)

データ収集

- 支援すべき子を取り残さない
- ・データベースの構築
 - ・非認知能力等判定(自己肯定感等の調査)の実施

推進体制

- 施策の推進体制を構築
- ・つくば市こども未来懇話会におけるチェック
 - ・つくば市こども未来庁内連携会議の開催

支援の方向性

- ・持続可能な開発目標(SDGs)に沿った包摂的・包括的な支援
- ・地域、実施団体、大学、学校等との連携

達成目標

- 1 自己肯定感を持つ児童生徒の割合の増加
- 2 将来の夢や目標設定力を持つ児童生徒の割合の増加
- 3 家庭学習の習慣づけができていない児童生徒の割合の増加
- 4 「よくわかる」「わかる」を実感できる児童生徒の割合の増加
- 5 希望者全員の高校進学・卒業